



授業づくりのお助けマン
しまっせーず
参上!!

授業づくりの柱をつくる
柱レッド!!

授業づくりを考えるときに、どんな風に考えていますか。
子どもたちの実態から？ 目標や内容から？ 興味のありそうな内容から？
何をねらい、どんな内容を学ぶのか、しっかりと意識して授業を組み立てていく
といいですね。

そうはいつでも、なかなか難しく、思いついたことをやっている
感じだにゃん。なにかいい方法があるのかにゃん？



SNE にゃん
(Special Needs Education)

そんな時に使えるのがこれ！**授業づくりシート**♪
頭の中で考えていることを思いつくままに書き込んでいくと、授業について整理されますよ。
意識できていなかったことにも気づけて、一石二鳥♪
発問などがはっきりとした意図があるものになり、子どもたちの学びが深まるでしょう。

授業づくりシート

Go!Go! 授業づくりシート<単元(題材)計画編> 記入のポイント 特支CS 知的教科の場合	
【教科名】	【学習内容】
【領域】	

① 児童生徒の実態			
	A	B	C
これま での教 科・領 域に關 する事			
進み			
支援が 必要な ところ			

※本単元の教科、領域にかかわらず、児童生徒の進みや支援が必要なところを記入します。
・個別の指導計画を基に記入しましょう。
・実態把握が難しいと思われる場合は、「特別支援学校学習指導要領 各教科等編」、ホームページ資料「各教科の段階表(国・算・数、主)」を参考にしてください。
・児童生徒の進み、特に支援が必要と思われるところについても書き、記入してください。

② 個々の単元(題材)のねらいと手立て			
	A	B	C
ねら い			
手 立 て			

※本単元内容との関係性に基づき、「個々の単元(題材)のねらい」を記入します。
・単元が終わったときや児童生徒の実態を、3つの観点で表してみましょう。
・児童生徒が持っている力を活かせるよう、少しがんばれば達成できると思われる表で表しましょう。
※本単元の指導計画を基に、「手立て」を記入します。
・立てた進みを活かすための手立て、特に支援が必要となるにかかわる手立てを書き、記入しましょう。個々の手立てに併せ、異同全体で考えられる手立てについてもあれば記入しましょう。

③ 主な活動内容
※本単元の活動内容を記入します。 ・児童生徒の好むこと、学校生活での体験(実行していること、行事、日々の出来事等)から考え、豊かに学習に取り組む姿につながるものがよいでしょう。 ・小・中学校教科書、特別支援学校小・中学校用の適切な活用教科書(校本)、ホームページ資料「各教科の段階表(国・算・数、主)」も活動内容を考える際の参考になります。

「各教科等を合わせた指導編」「自立活動編」「教科編」
があって、それぞれの流れに合わせて考えられるよう
になっているんだね。

授業づくりの要点をおさえながら、流れに沿って
考えていけるよ。
何となくイメージしていたことが明確になって、
目標を達成しやすくなるかも。評価もしやすくなるにゃ〜。

記入例は、授業の参考にもなるにゃ〜。

各教科等を合わせた指導編には「活用資源例
一覧」があって、どんな活動をするか考える
ときの参考になるにゃ〜。

書きためていくとオリジナルの教材集が
できるにゃん! ラッキー☆

試作資料を使ってみようかなという人は
島根県教育センターに連絡して、様式をダウンロードしよう!

連絡先 0852-22-6467

